Community Medicine
── 地域医療の架け橋 ──

つばさ

2008年10月発行

第 17 号

社会保険神戸中央病院

〒651-1145
神戸市北区惣山町２丁目１－１
TEL　０７８－５９４－２２１１
FAX　０７８－５９４－２２４４
http://kobe-hosp.jp/

私たちは安全で温もりのある
医療と保健サービスの提供をめざします。

消化器内科

本年４月に、消化器内科の部長として私、安田が赴任しました。私は過去24年にわたり消化器診療一筋でやってきまして、京都府立医大病院以外に、京都並びに大阪の、国立や公立、民間の総合病院において、副院長等も兼任しつつ、ずっと消化器科部長や消化器センター長として、消化器の最先端医療の実施に努めてまいりました。消化器での治療と言いますと、外科手術と思われがちですが、実は、内視鏡治療やカテーテル治療、経皮的治療と言った低侵襲で優しい治療が種々開発され、外科手術に置き換わっている治療法も多く、また日々進化を続けています。高齢化社会を迎え、出来るだけ身体に負担をかけず、生活の質も落とさない、優しいながらも治療効果の高い治療法が求められているからです。

まさに、この分野は私がひたすら追求して実践してきた分野です。そこで、私の当院赴任と同時に、胃・食道や大腸を切除することなく内視鏡で癌部のみを切除するＥＳＤ（内視鏡的粘膜下層剥離術）や、肝臓を切除することなく肝切除に匹敵する治療効果を有する肝癌に対するラジオ波凝固治療（ＲＦＡ）等、低侵襲の先端医療を、早速導入し、順調に稼動させています。また、胆膵の分野に付きましても、ＥＲＣＰという胆膵内視鏡を用いた治療法を、数倍に増やし、この領域の疾患（胆管結石や黄疸を来す疾患）の方に、高水準かつ安全で低侵襲な治療を日々提供しております。実は、消化器内科は、病院で一番たくさんの手術を行っている科です。予定手術として、上記ＥＳＤや胃や大腸のポリープ切除、内視鏡的胃瘻造設術、食道静脈瘤治療、消化管拡張術等々のみならず、内視鏡による消化管止血術や異物摘出術、内視鏡的或いは経皮的胆道ドレナージ術をはじめとした緊急の救命救急医療含め、当科では教科書的な消化器治療のほぼ全てを網羅実施しています。質の点では、大学病院に優るとも劣らず、最良・最先端の医療を提供することをモットーにしております。スタッフは、西田部長と私、安田と、婦木医員に加えて内科所属の医師が当たっており、10月より１名常勤医（山名医員）が増員しております。

また、大変熱心で優秀なパラメディカルがチーム医療として当科を支えてくれています。

最新鋭の電気メスや拡大内視鏡、送水機能付き内視鏡等々の機器整備も順次進めております。とにかく、この地域の皆様に「消化器なら当院に任せて全て安心です」と言っていただけるように、安心・安全で高水準の医療を提供するよう常に努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。

消化器内科部長　　安田光徳

近隣医療機関のご紹介

西クリニック

〒651－1201

神戸市北区西大池１丁目３－22

電　話　078－581－5478

診療科目：外科・胃腸科・内科・循環器科

診療時間：９：00～12：00
16：30～19：30

休 診 日：木曜日　午後
日・祝日

西　勝三　先生

神鉄大池駅前で、外科・胃腸科・内科・循環器科を開設しております。かつて恩師は医者の原点は田舎の開業医にあり、大学の医者は最も悪い医者の見本であると我々を論されました。40年程前、開業医として第一歩を踏み出して以来一貫して良き家庭医を目指し研鑽、努力してきました。

如何なる病気であれ早期に発見し適切に処することが重要、初期対応次第で重大な結果を招きかねません。より高度な医療が求められる際には地域の基幹病院にご紹介申し上げています。社会保険神戸中央病院の皆様には、しばしば困難な症例をもお引き受けいただき有難く思っています。

比較的病状の安定した慢性期や術後患者のフォローも大切な仕事です。

又、家族での対処が困難なケースでは療養型病床も備えておりますので気軽にご利用頂けます。

今後共、初心を忘れることなく、地域医療に誠心誠意取り組んでいく所存です。

認定看護師紹介

緩和ケア認定看護師　看護管理部　足立　美香

緩和ケア認定看護師の足立美香と申します。２年前に当院に就職し、今年の４月からは緩和ケアチーム専従看護師として横断的に院内で活動しています。

当院の緩和ケアチームは主に緩和ケア医師（内科）、精神科医師、薬剤師、緩和ケア認定看護師で構成されておりサポートメンバーにはがん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師がいます。昨年の６月から緩和ケア診療加算を算定しており、主治医より依頼を受けた一般病床入院中のがん患者さんを対象とし現在15名から20名程度の方に介入しています。

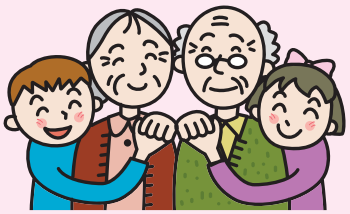
緩和ケアチームでの活動は私が望んでいたことで、充実して働けているのは医師や病棟スタッフの協力のお陰です。特に、緩和ケアチームの医師は、フットワークが軽く相談もしやすいのでとても心強く、チーム力が安定していることによって病棟スタッフや患者さんたちに還元できる力も少しずつパワーアップしてきているように自負しています。

最近では＜緩和ケア＞という言葉も終末期のみではないという理解をしてくださっている方が増えてきました。緩和ケア認定看護師は、がん患者さんの身体・社会的・精神的・スピリチュアルな痛みの緩和についての実践・指導・相談という役割を担っています。最近ではリンパ浮腫の相談なども増えてきています。そしてもう一つ私が大切にしているのが家族ケアです。ご家族をケアする事はみなさんの想像以上に患者さんをケアする事に繋がっていると思います。今後もっともっと緩和ケアの魅力を発信していきたいと考えています。どうぞ気軽に声をかけてください。

肝炎インターフェロン治療にかかる医療費助成が始まりました

【趣旨】
Ｂ型及びＣ型慢性肝炎患者の早期治療を促進し、将来の肝硬変・肝癌といった重篤な病態への進行を防ぐ観点から、インターフェロン治療に係る医療費が助成されます。

【助成の概要】
患者世帯の所得に応じて、肝炎インターフェロン治療費（保険適用のものに限る）の「自己負担額（月額）」を定め、これを超える額を１年間にわたって公費助成されます。
自己負担限度額区分－１万円／３万円／５万円（所得によって３段階に区分）



【対象者】
兵庫県内に住所を有する方
神戸市内の方は、各区役所保健福祉部あんしんすこやか係が申請窓口です。

【助成の対象となる医療】
Ｂ型及びＣ型肝炎ウイルスの除去を目的として行うインターフェロン治療で保険適用となっている医療。インターフェロン治療にかかる初診料、再診料、検査料、入院料、薬材料が対象です。

【認定基準】
HBe 抗原陽性でかつ HBV－DNA 陽性の Ｂ型慢性活動性肝炎でインターフェロン治療を行う予定、又はインターフェロン治療実施中で肝癌の合併のない方。
HCV-RNA 陽性の Ｃ型慢性肝炎及び Ｃ型代償性肝硬変でインターフェロン治療を行う予定、又はインターフェロン治療実施中で肝癌の合併のない方。

主治医とご相談の上、申請に関するご質問は医事課までお尋ねください。

看護専門外来開設について

私たち看護職は、日々、病棟や外来で患者さまやご家族とかかわる中で、病気とともに生きていく方々を継続して支援し、看護する場を作りたいと考えていました。そのような思いが「看護専門外来」として10月に開設することができました。以下、看護師たちが心をこめて看護を提供する「看護専門外来」をご紹介します。「看護専門外来」は、医師と連携を取りながら専門性を高めた看護師が主体となって行っています。

看護専門外来を担当している看護師は、看護専門外来活動の目的を共有し、患者さまが必要としている看護を必要に応じて、適切に提供できるように努力しています。お困りのことがありましたら、ご遠慮なくご相談下さい。

看護専門外来活動の目的

1．合併症の予防・自己管理方法の習得、生活していく上で必要な指導を通して、患者さまの生活の質を高めることを支援する
2．患者さまとご家族の看護への信頼を得て、質の高い医療の保障に貢献する

開設されている看護専門外来

☆糖尿病看護（インスリン療法・フットケア）
☆ストーマケア（人工肛門）
☆緩和ケア・がん性疼痛看護（がんに伴う痛みや症状に関する相談・指導等）
☆がん化学療法看護（治療に関する相談等）

初回は必ず当該診療科医師の診察が必要になります。（予約制）

新任医師紹介

前田　伸也：神経内科
これまで明石市民病院で５年余り勤務していましたが、この度関口先生の後任として当院に勤務することになりました。よろしくお願いします。

山名　順子：消化器内科
「患者様に親切に」を心掛けて頑張りますので、よろしくお願い致します。

嘉山　邦仁：麻酔科
新しい環境で、まだまだ慣れていないところもありますが、宜しくお願いします。

退任医師のお知らせ

関口　兼司：神経内科
宮本　達人：麻酔科

病気のお話 その４　骨粗鬆症

整形外科　大塚　悟朗

骨粗鬆症は骨がもろくなり骨折しやすくなる病気ですが、最近の研究で骨密度だけでなく骨質も重要であることが判りました。治療に関しても骨折予防に効果がある骨粗鬆症薬が開発されています。現在では骨密度を測定し、血液と尿検査で骨質を推定し、適切な治療薬を服用することが可能となっています。これらの治療薬は、骨折を起こす以前からの服用がより効果的です。骨折を起こしたあとでは、薬が効きにくいばかりでなく、例えば大腿骨頚部骨折では、１年以内の死亡率が約10～30％と大変予後が悪くなります。そこで骨折を起こす前からの治療が推奨されています。

一方、今年にはいり骨粗鬆症治療薬による顎骨壊死が話題になっています。これは、ビスホスホネート（BP）剤を服用されている方が、歯科で抜歯や骨におよぶ処置を受けられたあと顎骨が壊死を起こすというもので、10万人に１人未満の頻度で起こると報告されています。BP 剤を３年以上服用または３年未満でもステロイド剤を服用されている方は、BP 剤服用を３ヵ月間中断してから、歯科治療を受けるよう提言されています。長期間服用されている方、ステロイド剤を服用されている方はご注意ください。

（BP 剤　＝　ダイドロネル、フォサマック、ボナロン、アクトネル、ベネット）

医学常識の うそ？ ほんと！

食事を抜くダイエットは痩せられる？

ダイエットのために、朝食を抜いたり１日２食にしたりと、極端なカロリー制限をする人はいませんか？欠食すれば、一見摂取するカロリーが減るように思えますが、ダイエットには全く逆効果です。

欠食すると、いつもよりご飯が大盛りになったり、ボリュームのあるお弁当を食べたりといった「ドカ食い」をしてしまう可能性があります。

「ドカ食い」は結果的に一日の摂取カロリーは減っていない場合もあります。

また、欠食を頻回に行うと、今度はいつエネルギー補充されるかわからないので、できる限りエネルギー消費を抑え脂肪を蓄えようとする体質に変わっていきます。

極端なカロリー制限は栄養バランスが悪くなりやすく、筋力を低下させて消費するエネルギー（基礎代謝）が減り、カロリーを消費しにくい体質になってしまいます。

結果として欠食や極端なカロリー制限は、ダイエットをやめたらリバウンドしやすくなり、食べたらすぐ太ってしまう体質となります。

ウォーキングなどの運動も行いながら、食事の内容やバランスを考え、素材の味をゆっくりと楽しみながら食べ、スポーツの秋、食欲の秋を満喫しましょう!!

おいしい栄養学

じゃがいも釜のクリームスープ煮

栄養課　岸野三枝子

〈材　料　１人分〉１人分 140 kcal

じゃがいも	１ケ	しめじ	１／６パック
えび	１尾	栗（南瓜）	10ｇ
ブロッコリー	20ｇ	人参	10ｇ
パプリカ（赤）	５ｇ	くちなしの実	少々
バター	少々		
スープ　牛乳	30cc	鶏がらスープ	40cc
塩	少々	こしょう	少々

きのこには腸を整えて、肥満予防や便秘予防、老化防止の作用もあり、ビタミンD、ビタミンB群、食物繊維が豊富に含まれています。

〈作り方〉

①じゃがいもを７対３の割合で切り分け、大きい方の中をくり抜いて器にする。これを少し硬めに茹で、軽く塩、こしょうをふってバターを少量入れて蒸し、下味をつける。

②しめじは石づきを切り落とす。えびは殻をむき背わたを取ってぶつ切りにする。栗は別の鍋で、くちなしの実と一緒に茹でて色づけをする。

③ブロッコリー、人参は適当な大きさに切り、茹でる。

④②のしめじ、えび、栗を一緒にバターで炒める。

⑤スープを作る。牛乳を温め、塩、こしょう、鶏がらスープを加える。

⑥①に④を盛り、③を飾り、スープをかける。